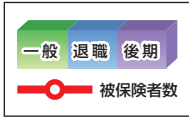
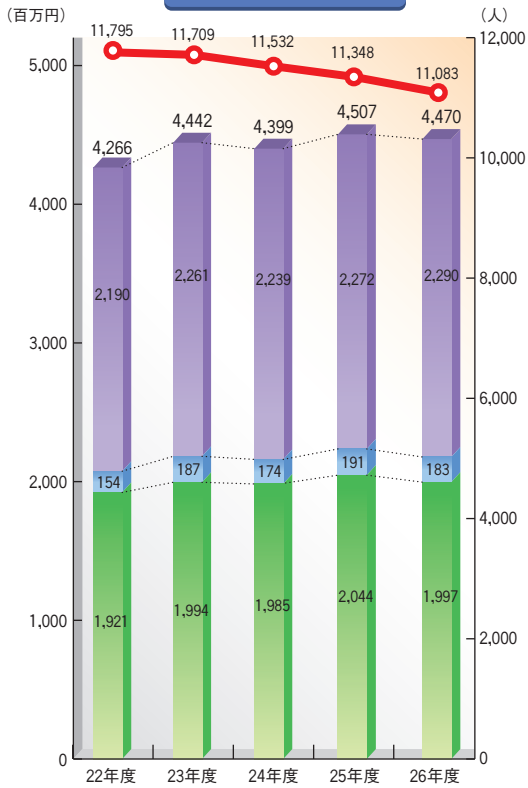


# 益子町

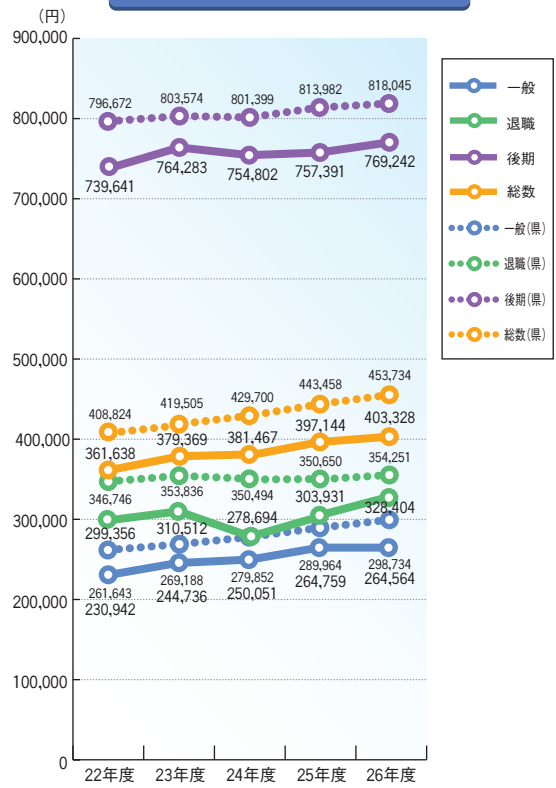
# 益子町



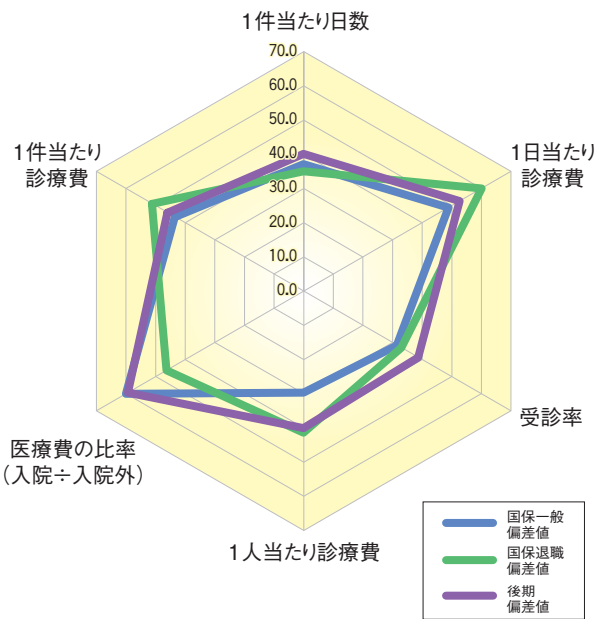
### 医療費の推移



### 1人当たり医療費の推移

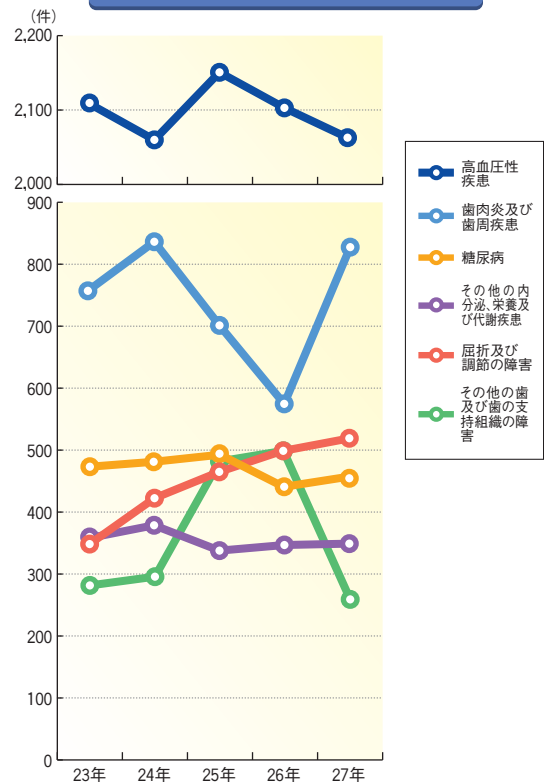


### 平成26年度 3要素と医療費諸費 (県平均との比較)

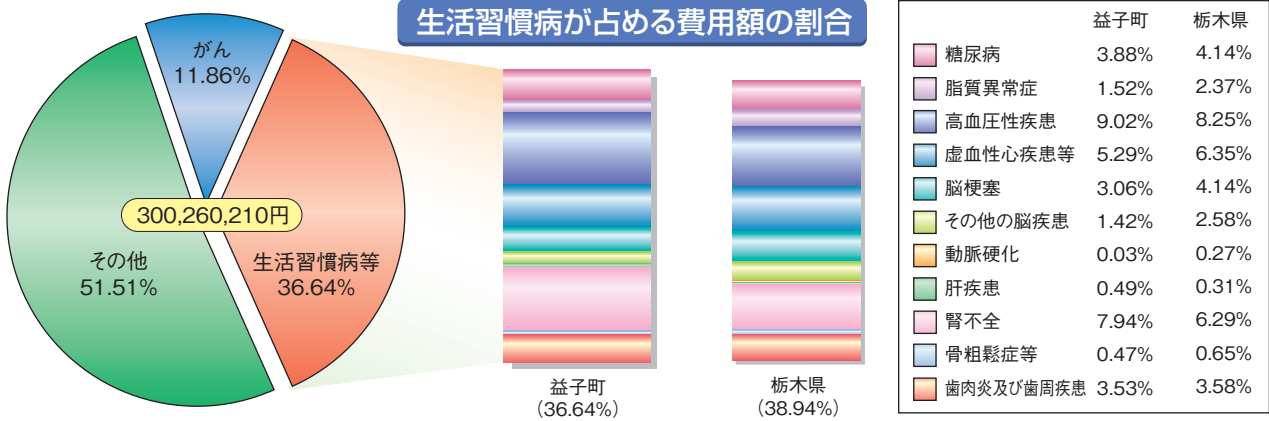
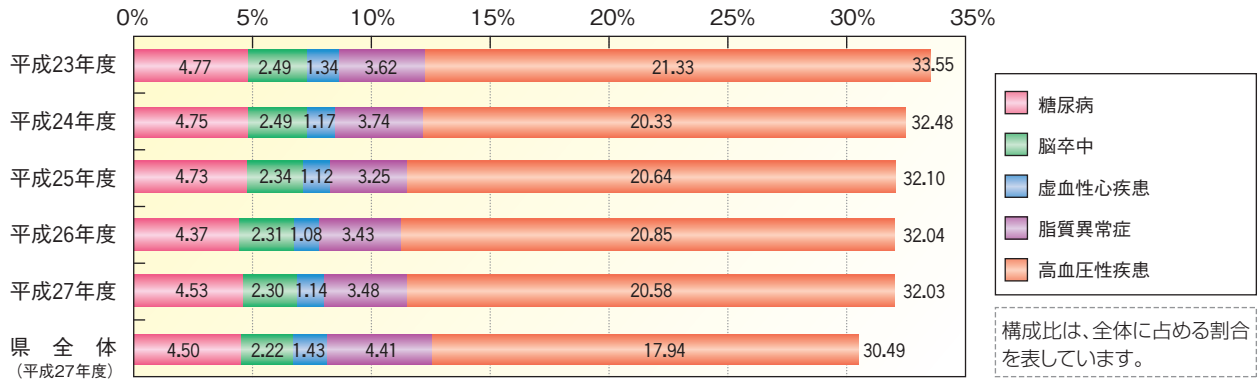


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

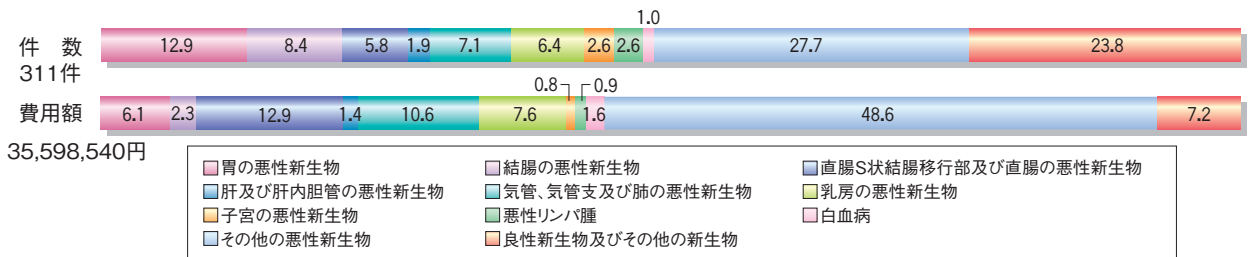
### 多受診疾病上位6位の推移



## 生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



## がんの件数・費用額割合(部位別)



## 益子町の状況

### ★医療費の状況及び被保険者数

平成26年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般1,997,457千円(97.7%)、退職182,593千円(95.8%)、後期2,290,032千円(100.8%)で、全体では4,470,082千円(99.2%)と減少している。( )は前年度との比較。

平成26年度平均被保険者数は11,083人で、内訳は一般7,550人、退職556人、後期2,977人である。前年度比較すると全体で97.7%と減少している。

また、平成26年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は403,328円(6,184円増)、一般は264,564円(195円減)、退職は328,404円(24,473円増)、後期は769,242円(11,851円増)である。( )は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、一般は、医療費の比率以外の諸率がいずれも低く、退職は1日当たりの診療費、1件当たりの診療費以外がいずれも低い偏差値となっており、後期は、1日当たりの診療費及び医療費の比率が高い偏差値となっている。

### ★疾病の状況

平成27年5月診療分の件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位屈折及び調節の障害、4位糖尿病、5位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、6位その他の歯及び歯の支持組織の障害で、中でも3位の屈折及び調節の障害は平成23年度以降増加しており、平成23年と比べ、件数は1.49倍、費用額は1.98倍となっている。

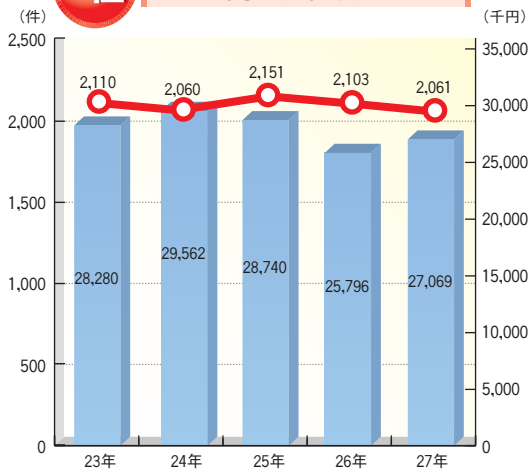
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ高血圧性疾患の構成比が非常に高く、脂質異常症は低い構成比となっている。

生活習慣病が占める費用額の割合は、平成27年5月診療分の総費用額が300,260,210円で、がんが11.86%、生活習慣病関連が36.64%を占めている(県全体 がん11.90%、生活習慣病関連38.94%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患9.02%、腎不全7.94%、虚血性心疾患5.29%となっている。

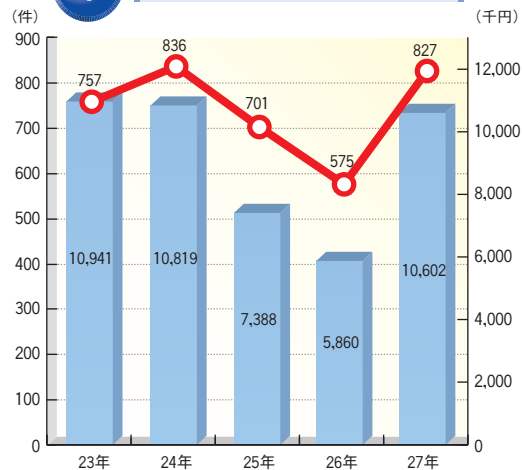
がんの部位別の件数及び費用額の割合をみると、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、費用額では、直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物、気管・気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっている。

# 多受診疾病 上位6の年次推移

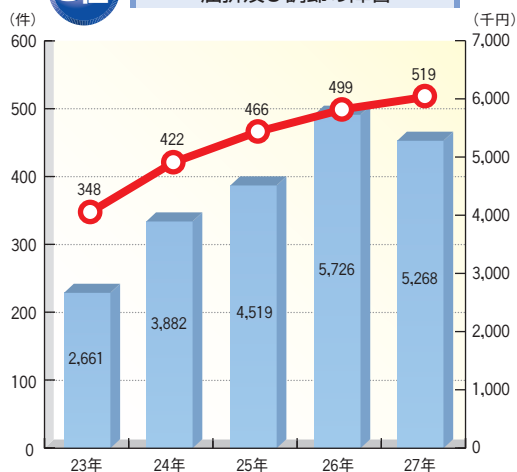
## 1位 高血圧性疾患



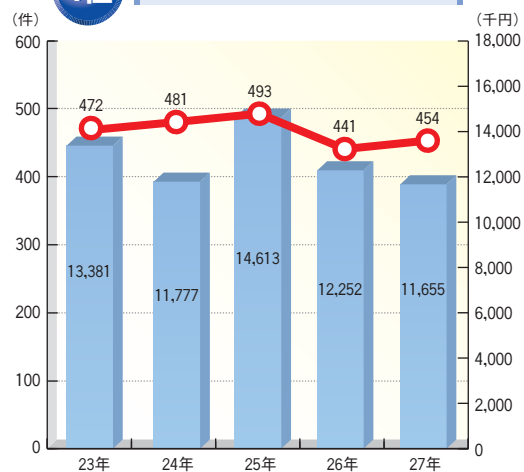
## 2位 歯肉炎及び歯周疾患



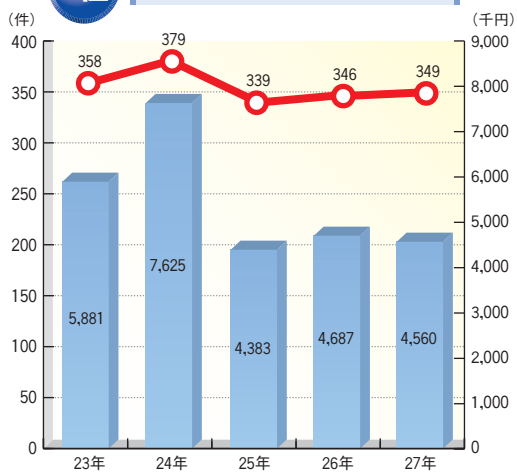
## 3位 屈折及び調節の障害



## 4位 糖尿病



## 5位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



## 6位 その他の歯及び歯の支持組織の障害

